

# 学生企画活動支援事業報告

学生企画活動支援事業とは、学生が自ら企画する事業の内、優れたものに対して大学が経済的支援等を行い、学生自身に実体験させることで、学生の企画力・実践力・社会性を高め、優れた教員等の養成に資することを目的としたもので、平成16年度から実施しています。今回は、採択された事業のうち、「秋のおでかけ」「ESD 実践勉強会」「The Merry Opera!」「楽器ふれあいコンサート」の活動を紹介します。

## 秋のおでかけ

今年は33名の学生が、障害のある子ども14名と保護者13名と一緒に、大型バスに乗って京都水族館まで行ってきました。

子どもたちも、保護者も、学生もみんながおでかけを笑顔で楽しめたことが印象に残っています。活動での関わりの中で、実際関わってこそ分かること、保護者の思い、学生の思いを共有でき、互いにたくさんの学びがありました。

また、この活動に取り組む中で、一つの企画をはじめから学生が主体となって作り上げていくことの難しさ、またそれを達成した時の喜びを感じることができました。

普段の講義では学べないことをこの活動を通して学ぶことが出来ました。参加した子どもたち、学生ともに将来につながる大切な経験が出来ました。今後もこのような活動を続けていければと思います。

(記事特別支援教育専修 2回生 北川 さち)



イルカショーの際にパフォーマンスのお姉さんとハイタッチしているところ。たくさんのたのしい出会いがありました。



集合写真

## ESD実践勉強会

当企画は持続可能な開発のための教育(ESD)の実践の上で必要とされる知識・経験を講義とは違う方法で獲得していく勉強会を企画するものです。今年は異なるテーマを設定した、次の4つの勉強会を実施しました。

第1回:奈良のブランド野菜「大和野菜」を用いた調理実習とESDの教材開発

第2回:玉川大学との交流・野外活動研修会

第3回:外部から現役の教員の方を講師にお招きしての人権教育ワークショップ

第4回:6大学でのESD交流

一貫したテーマではなくそれぞれ異なるテーマとしたことで、それぞれの準備・教材研究といった点で困難さを感じることも多々ありました。しかし議論を重ね、調理実習や他大学との交流、現職の教員の方をお呼びするなど、より体験的な手法をとることで、新しい学びを提供できていたように思います。これからの教員はESDに貢献出来ることを期待されています。幅広い視点をもって教育について考えていきたいと思っています。

(記事:社会科教育専修 3回生 高田 理生)



第2回勉強会の様子



他大学の学生を交えた意見交換

## 楽器ふれあいコンサート

楽器ふれあいコンサートは、約30人で奈良市内のこども園や福祉施設での演奏会をしています。

学生による演奏のほか、演奏終了後に奏者が園児や施設利用者さんの近くへ行き、実際に楽器に触ってもらうという時間を設けています。

演奏を聞いて「楽しかったよ」と言われた時、嬉しかったです。また、楽器ふれあいの時間中、色々な楽器に触れ合ってもらいたいが、一定の楽器に人気が集まってしまうのを分散させるのが難しかったです。

音楽にふれあって笑顔になる方々の様子を見るのが何よりも楽しいことで、やりがいを感じています。

(記事:国語教育専修 2回生 田中 希未)



楽器ふれあいの時間

## The Merry Opera!

私達学生オペラは、音楽教育専修の学生が中心となり毎年3月に有志の学生を募ってオペラ公演を行っております。学生オペラとは、キャストや合唱、アンサンブルは勿論、脚本・演出、編曲、衣装、大道具や小道具まで企画・運営の全てを学生自身で行うオペラです。例年約50名の参加者がいる中で一つのものを作り上げるというのは大変ですが、普段の生活では得難い達成感とやりがいを感じることが出来ます。今年の演目はメリー・ウィドウです。楽しい舞台をお届けできるよう、頑張ります!

(記事:音楽教育専修 3回生 平尾 麻亜子)



昨年の本公演の集合写真